[情報基盤センター演習室Ｂ　AV システム取扱説明書]

（ｉ）個別授業

使用にあたっては、下記手順によって行います。

(1)「キースイッチ；コネクターパネル」右のキ - スイッチにキーを差しこみ、右に回すとシステムが起動し、マイク系統が使用可能となります。キースイッチは右に回した状態では抜けません。マイクの音量は調整してありますので、可変は出来ません。

(2)ビデオプロジェクターを使用する時は、プロジェクターの ON スイッチを押して下さい。約 30 秒程度で、画像の投射が可能となります。

(3)スクリーン昇降スイッチの「降」を押してスクリーンを下ろします。降下位置は調整してありますので、スイッチを 1 度押しただけで所定位置まで降下します。

(4)AV ソース選択スイッチで投影するメディアを選択します。このシステムでは下記のメディアが投影可能です。

◎　常設パソコン　（設備に常設されております。）
◎　増設パソコン１（キースイッチ；コネクターパネルに予め接続します。）
◎　増設パソコン２（　　同上　　）
◎　ＯＨＣ（書画カメラ）（設備に常設されております。）
◎　ＤＶＤ／ビデオ（設備に常設されております。システム起動後、「SET　UP」の表示が点滅します。表示が消えてから、電源スイッチを押して電源を入れます。）
◎　外部入力（キースイッチ；コネクターパネルに予め接続します。）

※このシステムのビデオプロジェクターは、解像度 1024×768 ドット（XGA）までリニア対応し、それ以上の解像度のソース（SXGA、UXGA など）は圧縮対応となります。

※DVD,ビデオ、外部入力などビデオ信号は、通常日本で使用されている NT-SC 規格により記録されたものの他、欧州系の PAL 規格によるものにも自動対応致します。

※AV ソースの音量は、スイッチパネルの「AV ソース音量ボリューム」で調整可能です。パソコンで音声を出す時は、パソコン自体の音量調整も行って下さい。

終了にあたっては、下記手順によって行います。

(1) DVD,ビデオテープなどのソースを取り出します。
(2) スクリーンを「昇」スイッチを押して巻き上げます。
(3) キースイッチを左に回してシステムを OFF にしますと、終了完了です。

※(1)、(2)の作業は、システム終了後は出来なくなりますので、御注意下さい。

※プロジェクターの電源は、キースイッチを OFF にすると自動的に切れますので、プロジェクターOFF スイッチを押す必要はありません。

（ii）リンク授業

使用にあたっては、下記手順によって行います。

(1)「キースイッチ；コネクターパネル」の演習室 B のシステム起動キースイッチを右に回して演習室 B のシステムを ON します。
(2)リンク授業を行いたいほかの演習室用のシステム起動キースイッチも右に回して ON にします。
(4) スクリーン昇降スイッチの「降」をおして演習室 B と演習室 A のスクリーンを下ろします。演習室 A のスクリーン降下位置に、黒板ふきなどの障害物がないか、事前に確認して下さい。演習室 C とリンク授業を行う場合は、手動式スクリーンですので、事前に下ろします。
(5) プロジェクタースイッチを ON にします。（約 30 秒で投射可能となります。）
(6) 操作パネルで投射するメディアを選択します。

※ (1)と(2)の操作は順不動です。また(2)の前に演習室 B のスクリーンを下ろしてある場合は、(2)の操作後、再度スクリーン昇降スイッチの「降」を押しますと、演習室 A のスクリーンを下ろす事が出来ます。プロジェクターの電源は、演習室 B が ON になっていれば、他の教室のプロジェクター電源も(2)の操作後自動的に入ります。

※ 投射されるメディアは、すべて演習室 B と同じものとなります。

※ リンクしている演習室間で、マイク音声の交互交信が可能です。メディアの音声は、演習室 B よりのものに限定されます。

終了にあたっては、下記手順によって行います。

(1) DVD,ビデオなどのソースを取り出します。
(2) スクリーンを「昇」スイッチを押して巻き上げます。（演習室 C は手動となります。）
(3) 各キースイッチを左に回してシステムを OFF にすると終了完了です。（順不動）
※(1)、(2)の作業は、システム終了後は出来なくなりますので、御注意下さい。
※プロジェクターの電源は、キースイッチを OFF にすると自動的に切れますので、プロジェクターOFF スイッチを押す必要はありません。